

# 平成22年度河川の水質調査結果を報告します



## キーワード

### ※BOD(生物化学的酸素要求量)とは…

微生物が水中の汚濁物質を分解するときに必要な酸素の量。汚濁が進んでいるほど、分解に必要な酸素量が多くなるため値が高くなります。

市では、毎年きれいな水辺を守るため、市内の10河川の水質を調査しています。調査は年6回(小野川は12回)行い、その平均値でその年の河川の状態を判断しています。このほど平成22年度の水質調査がまとまりましたので、ご報告します。

河川の汚れの度合いを表す指標は「BOD※」です。下表が、市内各河川のBODの値を年度ごとに比較したものです。それぞれの河川の値からは、一般的に水質が改善されてきていて、環境基準が定められている小野川と稲荷川の2つの河川については、年度によって多少の変化はあるものの、おおむね基準をクリアしています。

また、市ではこれらの河川の状態を常に監視していただく水質監視員を委嘱し、異常やごみの不法投棄などを監視していただいています。水質監視員は活動の際、腕章をしていますのでご協力をお願いします。

市内各河川のBOD 経年変化

単位：mg/l

河川名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	環境基準
刈谷川	3.2	2.1	2.4	2.9	1.6	2.4	-
稲荷川	-	-	1.4	2.6	1.4	1.6	B 類型3.0
根古屋川	1.2	1.1	1.0	2.0	0.9	1.5	-
遠山川	1.5	0.7	1.4	2.6	1.0	1.5	-
柏田川	2.0	2.3	1.3	2.0	2.0	1.8	-
結束川	2.5	1.1	1.4	2.8	1.4	2.4	-
太田川	0.8	0.7	0.6	2.1	1.4	1.3	-
桂川	2.1	-	1.6	2.9	1.5	1.9	-
乙戸川	-	1.2	1.8	2.5	1.6	1.8	-
小野川(東獺穴)	1.8	2.5	2.3	3.1	2.2	2.3	A 類型2.0
小野川(小野川橋(島田))	1.5	1.5	1.9	2.1	1.7	1.9	A 類型2.0

## 私たちができる身近で効果的な水質浄化対策10カ条

- ①台所にはストレーナーか三角コーナーを置く。
- ②油は使い切るか廃油回収へ出す。
- ③食器の汚れは拭いてから洗う。
- ④調理くずは堆肥化する。
- ⑤お風呂の残り湯は、掃除や洗濯など有効に使う。
- ⑥側溝などは定期的に清掃する。
- ⑦河川にごみを捨てない。
- ⑧肥料や農薬の使い過ぎに注意する。
- ⑨下水道に接続するか、合併浄化槽を設置する。
- ⑩浄化槽は定期的に点検清掃する。

問い合わせ 市環境政策課 ☎内線1561